

新しい生き方

岐阜市立陽南中学校 3年
伴 優輝

SNS で既読がついているのに何時間も返信がない。「何か怒らせることを言ったかな。」と不安に感じる人はいませんか。人前で話をする時に、みんなの表情が見える。「相手が何を考えているのだろう」と、恐怖を感じることはありませんか。数年前の私も同じように、不安や恐怖を感じる事が数多くありました。しかし、ある親友の存在がそんな不安や恐怖を感じていた私の考えを変え、私に「自分らしく生きる」ことの大切さを教えてくれました。

私は幼少期の頃、何をするにも自信がもてず、その理由も分からず、その場から動けなくなったり、逃げ出してしまったり…毎日、泣いてばかりの日々を送っていました。そんな私を横目に、目の前のことをこなしていく仲間たち。当たり前のように「まずやってみることが大切だよ。」とか「挑戦しなきゃ何も変わらないよ。」と言ってくる仲間たち。悪気がないのも、私のことを思ってくれているのも分かっていました。けれど、当時の私にはどんな言葉も響くことはなく「どうして、そんなに堂々といられるのだろう。」「なんでみんな涙を流さず、笑顔でいられるのだろう。」「私とみんなとでは何が違うのだろう。」と、ずっと答えのない自問自答を繰り返し、いつしか心を閉ざすようになっていきました。しかし、そんな私を変えてくれるきっかけが訪れました。親友との出会いです。

私とその親友の出会いは小学生の時でした。いつも失敗ばかりして泣いている私に周囲の人は「次はできるよ。」と言います。しかしその親友は、私のそばにいて、そっと寄り添ってくれました。そしていつも「みんな違ってみんないいんだよ。」と言声をかけていました。そのさりげない優しさが嬉しくて、いつしか私は親友と行動を共にするようになりました。そんなある日、小学校で鼓笛の演奏があることを知りました。私は保育園の頃からピアノを習っていたので、「やってみたい。」という気持ちがありました。人前に立って活動する自信がもてず参加することを諦めていました。そんな中で、親友は「一緒にやらない。」と誘ってきたのです。今まで表舞台に立つことを怖れ、挑戦してこなかった私のことを理解し、いつも何も言わずに寄り添ってくれていた親友が、なぜかこの時だけは私を誘ったのです。最初は理解できませんでしたが、せっかく親友に誘ってもらったのだから私はやってみることにしました。

ドキドキしながら始まった練習も、自分のやりたいことができてどんどん夢中になっていき、相手の反応が気にならなくらいのめり込んでいきました。そして、たくさんの人の前で泣くこともなく本番までやり切ることができたのです。「やってよかった。」心からそう思えました。恐怖に感じていたみんなの表情も柔らかく温かく感じられるようになりました。この時、親友に言われた言葉が蘇ってきました。「みんな違ってみんないい。優輝さんには優輝さんのよさがあるんだよ。」私はこの時、どうして親友が鼓笛に誘ったのかを理解しました。そこには、自分に自信がもてなかった私に「自分らしい生き方をしてほしい。」というメッセージを込めてくれていたのです。この出来事をきっかけに、他の人と比べてばかりだった私は、「みんな違ってみんないい。」「私には私にしかできない生き方があるんだ。」と気付くことができました。

「どうして、みんなと同じようにできないのだろう。」「私とみんなとでは何が違うの。」今も苦しみ続けている人たちへ…どうか届いてほしい。「みんな違ってみんないいんだよ。」あなたには、あなたにしかないよさがあります。あなただけの生き方があります。